

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス七つ葉		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日	～	令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業員評価実施期間	令和8年2月24日	～	令和8年2月27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性や成長過程に合わせた個別支援を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との情報共有及び職員間の意見交換などで支援に反映させている。 ・子ども様子を細かく観察し、小さな気づきを大切に支援を改善しながら対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表面的な支援ではなく、その背景を考える支援を行っていききたい。 ・支援内容の定期的な振り返りを実施していきたい。
2	活動の目的を大事に子どもの「出来た」という喜びを増やす支援が充実している。	楽しさの中にどんな目的があるのかを分かり易く伝えつつ、子どもたちの「芽生え」を大事にサポートし、自己肯定感を高められるよう努めている。	活動後の振り返りの実施や出来ない原因の究明。声の掛け方や特性などの理解、環境などにも配慮していく。
3	屋内外の広いスペースや安心安全な環境づくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に対して広く充実した環境が整備されており、窮屈さもなく子どもたちが伸び伸びと過ごせる空間である。 ・事故防止のため、常に整理・整頓に心掛けつつ、未然に事故を防げるよう努めている。またヒヤリハットを大事に繰り返さないために職員間で話し合いを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと同じ目線で危険なものがないかを意識的に確認する必要がある。 ・定期的に職員間で緊急時のマニュアルを確認し意識づけを図っていききたい。 ・ヒヤリハット事例を定期的に振り返る機会を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の方向性の違いやバラつきがあるように感じられている。	経験年数の違いや支援方法が人によって異なる場面があり、方向性の統一化が課題である。職員の定着率の低さも要因となっている。	OJT、OFJTなどの教育プログラムをより充実させていくなから、職員間で情報共有する機会を増やしていく。
2	保護者同士のつながり	保護者会の開催に向けて準備を進め、通知するも共働き家庭が多く、参加人数が13世帯中、2世帯という結果で開催できなかった。	候補日を複数設定するとともに子ども一緒に参加できるようなイベントを実施することで家族の参加も見込まれるため検討しているところである。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス七つ葉

公表日 令和8年3月12日

利用児童数 14

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		2	人の入れ替わりが多いように感じるので適切か分からない。	職員の入れ替わりがあった際にはその都度報告を行う。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				2	見たことがないので分からない。	児童が利用している際に見学会などの開催を検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13						
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3				パン祭りなどがありますが、参加していても交流とは言いづらと思います。	地域の中に出掛ける機会を増やしていく。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2				今まで1回あったかなという感じです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	3			・こういった活動があると家族は嬉しいです。 ・一度、中止となりそれ以降のお知らせがない。	保護者会の開催に向け準備を進めていきたい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1				いつも相談すると迅速に対応していただき本当にありがたい。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常 時 等 の 対 応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					
	23	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	24	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					
満 足 度	25	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	26	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	27	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス七つ葉				公表日	令和8年3月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	十分に広いスペースが確保されており、屋内での幅広い活動に生かしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	子どもに対して視覚化するなど分かり易く環境を整えている。また段差など障壁がないよう整備している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃はもちろんのこと、広いスペースを活用して窮屈な生活とならないよう配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	カムダウンエリアとしての活用や静養室として状況に合わせて使用を認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	日々の申し送りなど全職員が参加して業務を進めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	面談や相談対応など保護者の意向を確認する機会を設けている。	ご家族が多忙ということもあり、コミュニケーションの難しさや、意向を確実に把握できているか不安になることがある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	毎月の法人内での研修及び外部研修など積極的に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	職員間でアイディアを出し合いつつ、過去の活動をブラッシュアップするなど工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	日々の申し送りなど業務内容の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	様々な場面で自己選択、自己決定ができるよう場面設定に心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	利用開始前の状況及び児発との情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4		現在までに対象者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	研修への情報提供を行っている。	事業所独自で家族に対する研修は実施出来ない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3	保護者会開催に向けて準備を進めているが、参加率が著しく低い。	半数以上の家族が集まれるような工夫が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情に対してその日に解決できるよう、電話対応等により解決を図っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	パン祭りの開催などを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		毎月、訓練を実施しても良いのではないかと。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	4	0		
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			